

防衛協力強化のための日ASEAN大臣イニシアティブ:ジャスミン Japan-ASEAN Ministerial Initiative for Enhanced Defense Cooperation: JASMINE

【概要】

- 安全保障環境が厳しさと複雑さを増し、共有しているインド太平洋地域の将来像の実現が試練の時を迎えている中で、日ASEANの防衛協力関係を新たな段階へと進めるため、2023(令和5)年11月15日、第8回日ASEAN防衛担当大臣会合において、木原防衛大臣がASEAN各国に提示したイニシアティブ。
- ASEANへの防衛協力の方向性に関する全体像を示した「ビエンチャン・ビジョン2.0」の精神に則り、日本がASEANと共有しているインド太平洋地域の将来像を実現すべく、共に進めたい具体的な防衛協力の内容を4つの柱の下で示したもの。
 - ✓ **共有しているインド太平洋地域の将来像:** 日本とASEANは「自由で開かれたルールに基づくインド太平洋地域を促進するとの共通の考え」を確認している。日本の「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」及びASEANが掲げる「インド太平洋に関するASEANアウトルック(AOIP)」は、地域の平和、安定及び繁栄を促進する上で本質的な原則を共有している。
 - ✓ **4つの柱:** (1) 日ASEANで力や威圧によるいかなる一方的な現状変更も許容しない安全保障環境の創出
(2) 日ASEAN防衛協力の継続と拡充
(3) 日ASEAN防衛関係者の更なる友情と機会の追求
(4) ASEAN・日本・太平洋島嶼国の連携の支持

【「ビエンチャン・ビジョン2.0」との関係性】

- 「ジャスミン」は、「ビエンチャン・ビジョン2.0」の精神に則り、日本がASEANと共有するインド太平洋地域の将来像を実現すべく、日本がASEANと共に進めたい具体的な防衛協力の内容を4つの柱の下で示したもの。
- 「ビエンチャン・ビジョン2.0」はASEANへの防衛協力の方向性に関する全体像を示したものの。「ビエンチャン・ビジョン2.0」そして同ビジョンに掲げられた「心と心の協力」、「きめ細やかで息の長い協力」、「対等で開かれた協力」といった実施三原則や、ASEANの強靱性を支援することによるASEANの中心性と一体性への貢献といった協力の基本的な方向性は引き続き有効。

4つの柱	具体的な取組
<p>① 日ASEANで力や威圧によるいかなる一方的な現状変更も許容しない安全保障環境の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 力や威圧によるいかなる一方的な現状変更も許容しない安全保障環境をASEANと共に創出。 ● 開かれ、安定した海や空を介して、繁栄を確かなものとするために、日本とASEANの実践的な防衛協力を進展させる。 ● 第一の柱に資するために具体的に追求していきたい連関する努力として、「法の支配の貫徹」と「海と空の安全保障の強化」を提示。 ✓ <法の支配の貫徹>：法の支配の重要性を再確認し、法の支配の実践者となるとともに、ルール・メイキングに関する協力をすすめながら、宇宙やサイバーを含む様々な領域における法の支配を更に強固なものとしていく。 ✓ <海と空の安全保障の強化>：インド太平洋地域の安全で安定した海と空のため、信頼醸成措置の発展や日本とASEANの安全保障能力の向上に引き続き取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】宇宙領域における法の支配と安全保障に関するセミナー開催 ・【新】空の状況把握(Air Domain Awareness: ADA)に関するセミナー開催 ・【新】「政府安全保障能力強化支援(Official Security Assistance: OSA)」と防衛装備移転や能力構築支援等との相乗効果の追求 ・「日ASEANサイバー国際法セミナー」 ・「日ASEAN乗艦協力プログラム」 ・「プロフェッショナル・エアマンシップ・プログラム」等
<p>② 日ASEAN防衛協力の継続と拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本とASEANが伝統的に取り組んできた国境を超える課題、そして新たに生じている課題に関する日ASEAN防衛協力の継続と拡充をすすめる。 ✓ <継続>：海面上昇や自然災害を更に深刻化させている気候変動、この地域にとって依然として深刻な脅威であるテロといった国境を越える課題への対応におけるASEANとの防衛協力を「継続」。 ✓ <拡充>：宇宙やサイバーといった領域や、AI等の先端技術をめぐる新たに生じている課題に関する日ASEANの防衛協力を「拡充」。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「日ASEAN環境安全保障セミナー」 ・「日ASEAN防衛当局サイバーセキュリティ能力構築支援」等
<p>③ 日ASEAN防衛関係者の更なる友情と機会の追求</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本とASEANの防衛関係者間の更なる友情と機会を追求。 ✓ <友情>：相互の交流を促進させ、人的基盤の強化を図り、日ASEANの協力関係を更に深化。 ✓ <機会>：全ての人が、生存するのみならず、繁栄し、尊厳をもって生きることができる機会を創出。日ASEAN防衛協力の中で「女性・平和・安全保障(Women, Peace and Security: WPS)」アジェンダを更に促進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【新】ASEAN向けのWPSに関する新たな能力構築支援事業 ・PKOやHA/DR等、既存の能力構築支援事業でWPSセミナーを実施 ・ASEAN諸国で開催されるWPS関連の訓練やイベントへの積極的な参加 ・防衛大学校、防衛研究所、自衛隊幹部学校等への留学生受け入れ等
<p>④ ASEAN・日本・太平洋島嶼国の連携の支持</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ASEANと他の地域諸国、特に太平洋島嶼国が連携する際、適切な場合に日本が橋渡し役となり、地域間連携を図ることでインド太平洋地域の安全と安定に貢献。 ● ASEANと日本と太平洋島嶼国は、海洋安全保障、気候変動、災害対応等、多くの関心事を共有。これらの分野におけるASEAN・日本・太平洋島嶼国の間の連携の向上によって、共通の課題により効果的に対処。ASEANの中心性と一体性を尊重しつつ、地域間連携を支持することで、インド太平洋地域諸国の緊密なパートナーであり続ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「日ASEAN乗艦協力プログラム」と「日太平洋島嶼国及び東ティモール乗艦協力プログラム」の同時開催等

※ 具体的な取組は、複数の柱に該当するものがある